

Nagasaki University
NEWS TOP 10
 2013 - 2014 - 2015 - 2016
 在学4年間の
 10大ニュース

2016.4.14
熊本地震

2016年4月14日、最大震度7を観測した「平成28年(2016年)熊本地震」が発生しました。本学からも多くの学生が、熊本県阿蘇市等にて災害ボランティアとして活動しました。様々な方々のご支援、ご協力を頂きながら、瓦礫の片づけや家屋の解体準備作業、古民家修復作業に精力的に取り組みました。学生自身にとっても、大きな経験、学びとなった活動でした。



1

2 **大村智先生の講演** 2016.6

2010年から毎年長大ではリレー講座が開催されています。各分野で活躍されている方々を招き、講演していただく大変貴重な機会です。特に昨年の6月にはノーベル賞を受賞した大村智博士が講演され話題になりました。参加者は651名にも上り、過去最高の参加者数となりました。2016年のリレー講座全体の参加者数は3079名でした。卒業される皆さんには、この講座から学んだことを一つでも多く社会で役立ててもらいたいです。



2015年3月に公開の「風に立つライオン」では、1970年代にケニアでの医療活動に従事した長崎大学の医師が主人公のモデルとなりました。このご縁で、医療技術協力のほかケニア向けのサポートやロケ地提供なども行いました。また、同年12月公開「母と暮せば」では、登場人物である息子が長崎医科大学学生という設定だったこともあり、公開記念企画展や山田洋次監督・吉永小百合さん・二宮和也さんが登場した特別講義など、大学も大いに盛り上がりました。



映画 2015
「風に立つライオン」
「母と暮せば」

3



4 **第6回アフリカ開発会議 (TICAD VI)** 2016.8

2016年8月27日、28日にケニアのナイロビで開催された「第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)」に片峰学長が出席しました。TICAD VIへの参加は、長崎大学が長年にわたり実施してきた、ケニアをはじめとするアフリカ各国での教育研究の取り組みや医療支援活動が認められたもので、安倍晋三首相の主要な随員メンバーとして片峰学長が参加しました。

6 **中央図書館リニューアル!** 2013.4



2013年4月、文教キャンパスにある中央図書館がリニューアルしました。入口が2階から1階に移されてバリアフリー化。外壁もガラス張りになり、スタイリッシュな印象になりました。館内も大きく変化し、「積極的にディスカッションしてほしい」という思いで1階に新設された空間、「ラーニング commons」は、勉学を深める新たな起爆剤となっています。学習環境の充実のため、2014年5月には坂本キャンパスの医学分館も改修されました。

8 **海洋未来イノベーション機構設置** 2016.4

長崎大学は、長崎総合科学大学、長崎県、NPO法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会と、海洋エネルギー関連産業の拠点形成に寄与することを目的とする連携協力に関する協定を締結したことに伴い、「海洋未来イノベーション機構」を設置しました。長崎県内外の研究機関、産業界、自治体と協力し、海洋エネルギー開発と海洋環境保全・回復、海洋生物資源の持続的利用を同時に可能とするための研究を行うと共に、海洋の開発・利用・保全に貢献できる人材の育成に取り組んでいきます。



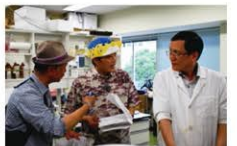
5 **多文化社会学部開設** 2014.4



2009年に設置構想が持ち上がった多文化社会学部が、2014年4月に開設されました。これまで長崎大学になかった人文社会系の学部として、政治・経済・文化、社会活動分野等で存在感をもって国際的に活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。2015年4月には国際学寮ホルテンシアが完成し、1年生は入学時から原則1年間、留学生とともに生活しています。

7 **さかなクンが水産学部を訪問**

NHK番組の撮影のため、さかなクンが長崎大学水産学部を訪れました。さかなクンに長崎のアジのおいしさを伝えるため、橋教授らは産学官連携で開発中の試作機を用いて、アジの鮮度を測る体験を行いました。



2013.5.27

9 **モニュメント「風の中で~明日への思い~」** 2014.10



2014年10月、文教キャンパスに新モニュメント「風の中で~明日への思い~」像が設置されました。教育学部の佐藤敬助教授によって制作されたこの像のテーマは、「日々の生活の中で、明日の世界や自らの未来に思いを馳せる時に湧き上がる情熱」です。正門のロータリーガーデンに設置されている「若人」の像と共に、長崎大学のシンボルとして学生たちを見守っていきます。

10 **長崎大学大学院・新研究科「熱帯医学・グローバルヘルス研究科」** 2015.4

熱帯医学・グローバルヘルス研究科は、あらゆる既存の学術境界を越えた新たな総合的アプローチにより世界の健康問題の解決をめざす「グローバルヘルス領域」で国際的に活躍できる人材を養成する大学院として2015年4月に設置されました(学生受入れは10月1日より)。熱帯医学研究などこれまでの本学の実績とミッションを踏まえ、グローバルヘルス領域の人材育成が遅れている日本の教育をリードしていきます。